

令和6年度

**北塩原村の教育に関する事務
の管理 及び 執行状況の点検
・ 評価報告書**

北塩原村教育委員会

令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の実施方針

1 趣 旨

北塩原村教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、主要な施策や事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることによって、効果的な教育行政の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出すると共に、公表を行うことで、村民への説明責任を果たし村民に信頼される教育行政を推進する。

2 実施方法

- (1) 点検及び評価の対象は、「令和6年度北塩原村教育委員会の重点施策」並びに「教育委員会の活動状況」とする。コロナウイルス感染症対応により実施できなかった事業についても対象とする。
- (2) 点検及び評価は、当該年度の施策・事業の状況を総括すると共に、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、年1回実施する。
- (3) 施策・事業の実施状況を取りまとめ、事務局員の自己評価、教育委員会評価を実施し、学識経験者（北塩原村教育事務評価検証委員）の意見を聴取した上で、最終的な点検及び評価とする。
- (4) 最終的な点検及び評価の結果を取りまとめた報告書を北塩原村議会に提出。
また、報告書は北塩原村HPで公表する。
- (5) 総合評価の基準
S：目標を上回って達成した（100%以上） A：目標をおおむね達成した（100～80%）
B：目標を少し下回った（80～60%） C：目標を下回った（60%未満）

《評価計画》

時 期	内 容	備 考
R7年2月 ～ 4月	事務局員による点検及び評価	教育委員会事務局
6月	評価内容について事務局の説明 教育委員会での評価	定例教育委員会
7月～8月	教育事務評価検証委員による評価 評価のまとめ	教育事務評価検証委員 事務局
9月	評価結果を議会へ報告	

《 教育委員会の活動状況 》

(1) 会議及び研修

- 4 月 県町村教育長協議会総会（福島市）
- 4 月 市町村教育委員会教育長会議（福島市）
- 4 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）
- 4 月 全会津市町村教育長連絡協議会定例会（会津若松市）
- 5 月 市町村教育委員会連絡協議会定期総会（福島市） 欠席
- 5 月 全国町村教育長会総会・研究大会（東京都） 欠席
- 5 月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会総会（西会津町）
- 6 月 会津採択地区協議会（会津若松市） 欠席
- 7 月 東北六県市町村教育委員連合会教育委員・教育長研修会（山形県） 欠席
- 7 月 会津採択地区協議会（会津若松市）
- 8 月 教育委員・教育庁研修会（福島市） 欠席
- 10 月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会研修会（喜多方市）
- 10 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）
- 11 月 市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会（南会津町） 欠席
- 11 月 全会津市町村教育長連絡協議会臨時会（会津若松市）
- 11 月 県町村教育長協議会研修大会県南大会（棚倉町）
- 3 月 域内市町村教育委員会教育長会議（喜多方市）
- 3 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）

(2) 教育委員会の活動状況

定例会開催：毎月最終の木曜日（基本）

期 日	主 な 内 容	場 所
4 月 2 5 日 (木)	○ 教育事務評価検証委員会委員の委嘱について ○ 社会教育委員の委嘱について ○ 文化財保護審議会委員の委嘱について ○ 学校給食調理場運営委員の委嘱について ○ 教育支援委員会委員の委嘱について ○ 学校教育指導委員の委嘱について（欠員補充） ○ 準要保護児童生徒の認定について	生涯学習 センター
	◎ 幼・小・中の入園・入学式出席 ◎ 教職員対面式出席	
5 月 3 1 日 (金)	○ 準要保護児童生徒の認定について ○ 東北六県市町村教育委員会教育委員・教育長研修会について	生涯学習 センター
6 月 2 7 日 (木)	○ 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について ○ 沖縄県東村との交流事業「ちびっこ探検学校」について ◎ さくら・裏磐梯運動会出席	生涯学習 センター

期 日	主 な 内 容	場 所
7 月 1 8 日 (木)	○ 令和 7 年度使用教科書図書について ◎ 「ちびっこ探検学校」沖縄交流結団式 ◎ 子どもの主張大会出席 ◎ 村制施行 7 0 周年記念式典（教育委員会顕彰表彰）	生涯学習 センター
8 月 2 9 日 (木)	○ 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について ○ 全国学力学習状況調査について ○ ふくしま駅伝について ○ 沖縄県東村交流の翼について ◎ 二十歳を祝う会出席	裏磐梯 小学校
9 月 2 6 日 (木)	○ 令和 6 年第 6 回村議会定例会報告について ○ 令和 6 年度総合教育会議について	裏磐梯 中学校
1 0 月 3 0 日 (水)	○ 令和 7 年度村 P T A 連絡協議会要望について ○ 令和 6 年度各地区文化祭について ○ 第 3 6 回市町村対抗福島県縦断駅伝大会について ◎ ふくしま駅伝結団式出席	生涯学習 センター
1 1 月 2 6 日 (火)	○ 令和 7 年度北塩原村教育委員会重点施策について ◎ さくらふれあい文化祭・裏磐梯文化祭 ◎ ふくしま駅伝報告会出席	生涯学習 センター
1 2 月 1 9 日 (木)	○ 令和 6 年第 9 回村議会定例会報告について ○ 北塩原村立小・中学校管理規則の一部を改正する規則	生涯学習 センター
1 月 2 9 日 (水)	○ 令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」について ○ 令和 6 年度「沖縄県東村交流の翼」来村について	第一中学校
2 月 1 9 日 (水)	○ 令和 6 年度教育委員会顕彰表彰について ○ 令和 7 年度教育委員会重点施策について ○ 令和 7 年度当初予算概要（一般会計） ○ 村立幼稚園・小中学校卒業（園）式について	生涯学習 センター
3 月 4 日 (火)	（臨時会） ○ 村立小中学校長及び教頭の任免について ○ 学校給食調理場設置条例の一部を改正する条例 ○ 準要保護児童生徒（入学準備金）の認定について	生涯学習 センター

期 日	主 な 内 容	場 所
3 月 1 8 日 (火)	○ 令和 7 年第 4 回北塩原村議会定例会報告について ○ 令和 7 年度教育委員会重点施策について ○ 北塩原村立幼稚園長の任命について ○ 北塩原村スポーツ大会出場激励金の支給に関する要綱の一部を改正する訓令 ○ 北塩原村学校給食調理場運営委員会規程の一部を改正する訓令 ○ 北塩原村学校給食費補助金交付要綱の一部を改正する訓令 ○ 北塩原村就学援助要綱の一部を改正する訓令 ○ 令和 6 年度高校入試の結果について ○ 村立幼稚園・小中学校入学（園）式について ○ 令和 7 年度教育委員会開催予定について ◎ 教育委員会顕彰表彰式出席 ◎ 幼・小・中の卒園・卒業式出席 ◎ 転出教職員離任式出席	生涯学習 センター

令和6年度教育事務の点検・評価

《政策 1》 生涯学習の推進

【重点目標】 生涯学習を通じた協働の村づくりを推進する

（施策 1） 村民の学習を支援するため、学習機会を提供する

【点検及び評価の結果】

（1）令和6年度の取り組み状況

- 村民の生涯学習を支援するため、生涯学習推進計画に沿って、学習ニーズやライフステージに応じた講座等を開設し、生涯学習への取り組みを促す。
- 村民・地域活動団体等との連携を強化し、協働による質の高い学習機会を提供する
- 生涯学習施設の適切な管理運営を行い、村民の生涯学習への参加意識を向上させる環境づくりに努める。

（2）今年度の主な事務事業

- ・教育講座（幼児・家庭・子ども体験）の開設等
- ・生涯学習センター管理事業
- ・図書環境の整備及び拡充

達成状況

項 目	目 標	実 績
主な教育講座等の開催回数（幼児・家庭・体験）	1 2 回	1 3 回
生涯学習センターの利用人数	延べ 1, 000 人	延べ 1, 276 人
図書コーナー利用人数	延べ 2 0 0 人	延べ 2 7 0 人
図書の貸出数	5 0 0 冊	7 0 9 冊

(3) 課題・問題点

- 教育講座の開催回数は計画通り実施された。今後はニーズに沿った内容とテーマを精査し、より多くの方に参加してもらうよう検討を行う。
- 図書室・図書コーナーの更なる充実に努めたい。

(4) 評価

A	○ 家庭教育講座については、保護者の参加しやすい参観日に実施した。保護者が抱える課題などを精査し、内容の検討を図りたい。 ○ 図書利用については、図書日より（区長便）の継続した周知を図り、新刊を含めた図書整備を充実し、新規利用者の確保にもいたった。 今後は、教育講座の開催や各幼小中学校・団体の活動と連携させ図書利用の機会を増やすなど事業の活性化を図りたい。
---	---

（施策２） 生涯学習ボランティア等の活動を支援する

【点検及び評価の結果】

（１）令和６年度の取り組み状況

- 学校支援地域本部事業『学校の応援団』を継続し、無理のない範囲で地域住民が活躍する場の提供や、生きがいに貢献する

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 学校支援地域本部事業
- ・ 生涯学習人材派遣事業

達成状況

項 目	目標	実績
生涯学習人材派遣事業の申請件数	２件以上	２件
「学校の応援団」の申請数	３０件以上	９０件

（３）課題・問題点

- 生涯学習人材派遣事業については、広報やホームページ等を活用のうえ、団体活動の更なる支援が必要。
- 「学校の応援団」の支援ボランティア員や生涯学習指導者への登録者の減少傾向にあることから新規人材の発掘が必要。

（４）評価

A	○ 生涯学習人材派遣事業の申請については、団体の活動支援に繋がっており、生涯学習指導者との連携、団体支援につながる周知を図りたい。 ○ 「学校の応援団」の申請については、新規の依頼もあるなど、地域と学校の連携が図れている実績となっているが、児童・生徒の減少に伴う支援のあり方の検討、支援する新規の支援員の確保が必要。
---	--

(施策3) 生涯学習情報の提供を充実する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 各課及び関係団体等と連携し、生涯学習カレンダーを充実する
- 村広報紙やホームページを活用した生涯学習情報提供を充実する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・生涯学習カレンダーの制作
- ・社会教育情報の発信

達成状況

項 目	目 標	実 績
村広報紙による社会教育情報発信数	1 2 回	1 2 回
生涯学習カレンダー発行	1 回	1 回
住民団体紹介数	1 0 団体以上	1 2 団体

(3) 課題・問題点

- 生涯学習主導者一覧の指導者の人材不足が懸念されていることから、新規指導者の確保に努める必要がある。

(4) 評価

A	○ 広報紙への掲載、生涯学習カレンダーの発行について、予定通り実施された。村ホームページや公式 LINE などでの発信との併用化を進めていく。 ○ 住民団体紹介数について、スポーツ・文化活動や作品などの記事と絡めて情報の掲載を図ることができた。
---	--

《政策 2》 学校教育の充実

【重点目標 1】 幼・小・中の一貫した教育を目指す連携を推進する

【重点目標 2】 知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

（施策 1） 地域全体で幼・小・中の一貫した教育をめざした連携を強化し、知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

【点検及び評価の結果】

（1）令和 6 年度の取り組み状況

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会を推進の核として幼・小・中の連携を図り、各校共通課題を設定し、課題解決に向けた対策を実践する
（中学校区単位において幼小中連携推進協議会を開催）
（幼稚園と小学校連携：交流、授業参観、合同マラソン記録会等）
（幼稚園と中学校連携：交流、職場体験等）
（小学校と中学校連携：授業・部活動見学、中学校教諭による外国語活動・陸上練習支援等）
- 郷土理解学習、異文化体験等を推進することにより、村の良さを再認識し、ふるさと理解（ふるさと愛）を育てる

（2）今年度の主な事務事業

- ・村指定公開授業研究会
- ・「北塩原村学びのスタンダード」共通実践
- ・教育委員会顕彰表彰
- ・幼小中連絡推進協議会

達成状況

項 目		目標	実績
全国学力・学習状況調査における全国と本村の比較値	小学 6 年生	100%	96.8%
	中学 3 年生	100%	93.1%

※全国平均正答率を100とした際の本村の数値

項 目		目標	実績
平日の家庭学習時間	小学 6 年生	80.0%	60.0%
	中学 3 年生	40.0%	20.0%

※小学校 6 年生は 1 時間以上学習する児童の割合

※中学校 3 年生は 2 時間以上学習する生徒の割合

(3) 課題・問題点

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会などを通して各校の課題を共有し、引き続き幼小中の連携を図りながら課題解決に取り組んでいくことが必要である。
- 平日の家庭学習時間においては、小学6年生・中学3年生ともに前年度を下回る結果となったため、学校と連携して指導・改善を図っていく必要がある。

(4) 評価

A	○ 顕彰表彰については、令和6年7月に開催された村制70周年記念式典において令和5年度分を、令和7年3月に令和6年度分を予定どおり実施することができた。 ○ 幼小中が連携し、一貫した教育を推進することができた。
---	---

（施策２） 特色ある学校づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

（１）令和６年度の取り組み状況

- 確かな学力、豊かな心、たくましい体の育成を図るため、学校独自の取り組みを支援する
- タブレット端末が全児童・生徒に導入されたため、タブレット端末を積極的に活用し、ＩＣＴ教育の充実に努め、学力向上につなげる
- 小学校の学習指導要領の改訂に伴う英語科及び外国語活動、プログラミング教育を支援する

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 総合学習等学校運営事業交付金
- ・ 森林環境学習事業
- ・ 学習チャレンジサポート事業
- ・ ＩＣＴ教育推進事業
- ・ 複式学級学習支援事業
- ・ 外国語指導推進事業
- ・ 学校活動応援事業

達成状況

項 目		目標	実績
漢検、英検の 合格者の割合	小学６年生	50.0%	60.0%
	中学３年生	50.0%	61.5%

※小学校６年生は漢検６級以上の級保有者の割合

※中学校３年生は英検３級以上の級保有者の割合

※特別支援学級を含む

（３）課題・問題点

- 各学校へのＩＣＴ周辺機器整備については、今後も各学校と協議のうえ進めていく。

(4) 評価

A	○ 漢検、英検の合格者割合は昨年度に引き続き目標値を達成することができた。 ○ 検定料の支払い方法を変更し、学校の負担軽減に寄与できた。 ○ 各学校に対する支援金・交付金については適切に執行することができた。
---	--

（施策３） 特別支援教育を充実する

【点検及び評価の結果】

（１）令和６年度の取り組み状況

- 発達検査を有効に活用するとともに、関係機関との連携強化、支援体制の充実に努める

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 特別支援児支援体制整備事業

達成状況

項 目	目標	実績
支援員配置を必要としている学校へ支援員を配置している割合	100%	100%

（３）課題・問題点

- 児童生徒に対する支援も多種多様となっているため、どの支援員も同じような対応が出来る様に研修機会の実施が必要である。
- 教育支援委員会での判断に際しては、主治医の診断や WISC-IVなどの専門検査結果が重要となるため、医療機関を受診していただく必要がある。

（４）評価

A	○ 令和６年度は幼稚園の年長組に支援を要する園児が入園したが、支援員及び看護師を配置して支援を行うことができた。 ○ 事務局、幼稚園及び小中学校の連携強化により、支援を要する園児児童生徒の情報共有を図り、就学への切れ目のない支援を行うことができた。
---	--

（施策４） 教員の教師力を高める

【点検及び評価の結果】

（１）令和６年度の取り組み状況

- 幼・小・中連携による授業研究会の充実を図るとともに、各種研修会への参加機会を積極的に支援し、教員の教師力・授業力・地域理解力を高める
- GIGAスクール構想による全小中学校の児童生徒へのタブレット端末導入により、教職員もタブレット端末利用やICT教育向上のための研修会を実施し、教職員のICT教育関連知識等の向上に努める。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 転入教職員村内研修
- ・ 学校教育指導委員先進地研修
- ・ 教育講演会
- ・ タブレット端末の効果的活用におけるICT教育研修

達成状況

項 目		目標	実績
村内研修への参加教職員の割合		90.0%	69.2%
教育講演会への参加教職員の割合		90.0%	88.1%
学校に行くのが楽しいと思う子の割合	小学6年生	90.0%	90.0%
	中学3年生	90.0%	100%

（３）課題・問題点

- 村の教職員であることに誇りを持っていただけるよう、転入教職員村内研修の内容の充実を図る。

（４）評価

A	○ 学校教育指導委員による先進地研修は、県内を中心に積極的に行い、ICTを含めた教師力・授業力の向上に寄与することができた。 ○ 教育講演会では「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化させた授業づくりについて講演をいただき、村内教職員が改めて授業づくりについて考えることができた。
---	--

《政策 3》 青少年の健全育成の推進

【重点目標 1】 心豊かで規範意識のある青少年の育成を推進する

【重点目標 2】 若者の育成支援

（施策 1） 「笑顔いきいきみんなで子育て宣言」を推進する

【点検及び評価の結果】

（1）令和 6 年度の取り組み状況

- 学校・家庭・地域と連携し、「ノーメディア（メディアコントロール）」を推進する
- 学校・家庭・地域と連携し、「あいさつ運動」を推進する

（2）今年度の主な事務事業

- ・ 青少年健全育成会議開催
- ・ 子どもの主張大会開催（開催場所：裏磐梯中学校）

達成状況

項 目	目 標	実 績
子どもの主張大会発表者数	8 人	8 人

（3）課題・問題点

- 例年、7 月開催となっており、熱中症対策を行ったうえでの実施となっている。県少年の主張大会（8 月下旬）の選考および各種行事を考慮したうえ、開催場所を検討する必要がある。
- 各学校の実情により、各校 2 名の選出が困難な状況も踏まえ、柔軟に対応する必要がある。

（4）評価

A	○ 子どもの主張大会の実施と、夏休み期間前に非行防止等啓発のチラシを配布を行い、事業の推進と周知を図ることができた。
---	--

(施策2) 家庭の教育力の向上を図る

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 各家庭が子どもの健全な成長・発達を促す家庭教育を行えるよう、学習機会や子育て支援事業を充実する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 幼児教育支援事業
- ・ ブックスタート事業
- ・ 家庭教育支援事業

達成状況

項 目	目標	実績
講座等開催回数	15回	15回

(3) 課題・問題点

- 各幼稚園や学校での講座に求めるニーズの把握など、保護者への更なる家庭教育への関心を高める働きかけを行う必要がある。

(4) 評価

A	○ 少子化が進むなか、乳幼児、青少年期に向けた講座への参加率が高いことから、更なる生涯学習推進の働きかけを行いたい。
---	--

(施策3) 明るい地域社会の環境づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 家庭・学校・地域社会が協力・連携する関係を築き、心豊かで規範意識を持つ青少年の育成に努める
- 地域行事への積極的な参加を進め、地域を知ることによりふるさとに誇りを持てるように努める

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 地域行事への積極的な参加奨励
- ・ 青少年健全育成標語募集

達成状況

項 目	目 標	実 績
健全育成標語へ参加児童生徒の割合	65%以上	84%

(3) 課題・問題点

- 地域学校協働本部事業（学校の応援団）と連動させながら、地域と学校がより近い環境をつくれるよう、地道な事業の継続と周知活動を行う必要がある。
- 中学校での参加者数が増加した。興味や関心を高める参加の推進を学校と連携して行う。

(4) 評価

A	○ 青少年健全育成標語を通して、子どもたちの考えを表現することができたことから、社会情勢に沿った内容の検討を行い、多くの児童・生徒からの応募につながるよう、更なる推進を図りたい。
---	---

(施策4) 若者による地域づくりを支援する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 若者や女性（以下「若者等」という）を核としたコミュニティの形成や、村づくりに主体的に参画する若者等の発掘・育成を図り、若者等が活躍できる村づくりを支援する
- 村づくりへの興味関心を促し、共に学びながら若者等が活躍できる環境づくりに努める

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 青年交流促進事業

達成状況

項 目	目標	実績
他地区との青年交流事業開催応援	1回	0回

(3) 課題・問題点

- 南陽市で10月に開催している「きくら祭」への参加については、令和元年度以降、事業の交流がない状態となっている。村内の青年団体を中心とした活動機運を高める働きかけと、公民館事業と連動させながら、継続した関係性の構築が必要である。
- 村内の団体育成が課題である。

(4) 評価

B	○ 南陽市や近隣市町村の青年団体との交流事業の実施は、社会情勢の変化に伴い、困難な状況にある。 ○ 今後は、実施可能な団体の活動支援と、村内の青年団体が自主的に活動を行える仕組みの検討を進めたい。
---	--

《政策 4》 「ひとり文化」運動の推進

【重点目標 1】 芸術・文化の振興を図る

【重点目標 2】 歴史資源の保存・継承を進める

（施策 1） 芸術・文化活動の活性化を図り、振興事業を展開する

【点検及び評価の結果】

（1）令和 6 年度の取り組み状況

- 自主活動グループの育成・支援を行う
- 地区文化祭において芸術・文化に触れる機会や展示・発表の場を提供するとともに、地域間・世代間の交流を促進する

（2）今年度の主な事務事業

- ・地区文化祭事業
- ・いきいき健康フェスタ（村社会福祉協議会主催）事業活用

達成状況

項 目	目 標	実 績
地区文化祭への地域からの出展 及び出演団体数	5 団体以上	1 8 団体
文化団体連絡協議会への加盟団体数	1 0 団体以上	1 5 団体

（3）課題・問題点

- 文化団体の高齢化が進み、各活動が鈍化しており、団体、会員募集、育成の支援が必要。今後も可能な限り団体活動育成と活動支援などを行う。

（4）評価

A	○ 文化祭での作品展示を行い、団体活動の継続と育成を目指した。 ○ 文化祭での出品された作品を生涯学習センターに展示し、より多くの村民の目に触れる機会を得ることができた。
---	--

(施策2) 歴史・文化資源の保存・継承を進める

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 村内の城館跡等に代表される史跡の発掘・保存・整備・適切な活用を進める
- 国史跡指定柏木城跡の保存活用計画の策定を進める
- 地域の伝統文化・郷土芸能、文化遺産の保存に努める

(2) 今年度の主な事務事業

- ・文化財保存利活用事業
- ・文化財整備事業
- ・保存活用計画策定事業
- ・小沼組絵図の説明会

達成状況

項 目	目 標	実 績
文化講演会の回数	1 回	1 回

(3) 課題・問題点

- 令和4年3月15日に国指定史跡となった柏木城跡の継続した外部発信と合わせ、今後は保存・整備・活用に関する計画策定を行う、柏木城跡を軸とした事業の実施と、村内の文化資源の整備、保存、利活用にも計画的に取り組む必要がある。

(4) 評価

A	○ 歴史ウォーク開催時にはガイド付きコースの実施など、歴史を題材とした勉強会等を実施することができた。 ○ 関係団体と連携した活動や村文化資源の外部発信を図ることができた。
---	--

(施策3) 村民が、村の文化遺産・豊かな自然を再認識する機会を充実する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和6年度の取り組み状況

- 村の文化遺産や自然の豊かさを学ぶ機会を通して、村への愛着心や誇りの気持ちを育てる
- 村の魅力(歴史・文化・自然)に触れるイベントを行い、村内外における交流を促進する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・会津米沢街道歴史ウォーク
- ・成人セミナー
- ・子ども体験活動事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
歴史ウォークへの参加者数 (計画定員に対する割合)	70%以上	62%
成人セミナーへの参加者数	50人以上	156人

(3) 課題・問題点

- 歴史ウォークの継続した事業実施により、会津米沢街道や国指定史跡の柏木城跡等の歴史的価値を活用した整備を図る必要がある。
また、歴史・文化・自然などの資源を活用し、効果的な事業実施と促進により地域活性化を図ることが重要となる。

(4) 評価

A	○ 歴史ウォークを軸とした、歴史講座の開催など更なる内容の充実を図ることができた。 今後も村の文化資源を広く関心を持たせ、地域の活性化が図れるような検討を行いたい。
---	--

《政策 5》 「ひとりスポーツ」運動の推進

【重点目標】 「心身ともに健康な暮らし」をめざし、スポーツ・レクリエーションの振興を図る

（施策 1） スポーツ交流の促進を図る

【点検及び評価の結果】

（1） 令和 6 年度の取り組み状況

- スポーツ・レクリエーションを通じた村民相互、また、交流自治体等との交流を促進する

（2） 今年度の主な事務事業

- ・ スポーツ団体等補助金（スポーツ大会等出場激励金）
- ・ スポーツ少年団本部事業
- ・ スポーツ交流派遣事業（家庭婦人バレー、市町村対抗軟式野球・ソフト）
- ・ スポーツ大会各種（村長杯グラウンドゴルフ大会、ビーチボールバレー交流会）

達成状況

項 目	目 標	実績
スポーツ大会各種への参加者数	1 0 0 人	1 5 0 人
スポーツ協会への加盟団体数	2 0 団体以上	1 2 団体

（3） 課題・問題点

- スポーツ少年団、スポーツ協会など少子高齢化の影響が大きく、登録団体が活動を止め解散している。生涯学習推進の「ひとりスポーツ」の機運を構築するため、関係各課、団体と連携し事業推進を図る必要がある。

（4） 評価

A	○ スポーツによる交流人口の拡大、健康づくりを推進するため、地域の実情に沿った社会体育事業の見直しや効果的な事業実施への検討を進めたい。
---	--

（施策２） 村民の健康維持・体力向上を図る

【点検及び評価の結果】

（１）令和６年度の取り組み状況

- 健康づくりの基礎となる『動く』『歩く』『走る』活動を推進し、村民の健康保持増進・体力向上に努める
- ふくしま駅伝に継続的に参加することで、村民の『走る（歩く）』ことに対する機運を高めるため、現登録選手の継続育成及び新規候補者の発掘・育成・強化に努める
- 体育施設の適切な管理運営を行い、村民の健康・スポーツ活動への参加意識を高める環境づくりに努める

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 福島県縦断駅伝競走大会参加事業
- ・ 体育施設管理事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
ふくしま駅伝登録者数	20名以上	20名
体育施設利用人数	延べ5,000人	延べ5,100人

（３）課題・問題点

- ふくしま駅伝事業など生涯学習推進計画にある「村民ひとりスポーツ運動」の推進を図る必要がある。
- 体育施設の利用については、近年の気候変動により、熱中症対策が必要な期間が長くなっていることから、健康管理の啓発と利用制限について検討が必要。
- 体育施設の老朽化が進んでいることから、今後の維持管理について検討が必要となっている。

（４）評価

A	○ 駅伝チームについては、登録選手確保が困難な状況にあるが、関係者と連携して事業推進を図る。 ○ 体育施設については、老朽化が進んでいることや熱中症対策を含め対策が必要。
---	---

《令和7年度教育事務評価検証委員の総括的意見》

(1) 生涯学習の推進

- 学校の応援団事業について、今後とも児童生徒が必要とする学習機会や地域住民が活躍する場の提供をお願いしたい。
- 評価はこのままで良い。

(2) 学校教育の推進

- 各学校のタブレット端末や電子黒板など整備されているが、今後はさらに機器等の整備をし、更なるICT教育の推進に努めてもらいたい。
- 評価はこのままで良い。

(3) 青少年の健全育成の推進

- 各学校の児童生徒数は年々減少しているが、子どもの主張大会では多くの児童生徒が発表できる機会を作ってもらいたい。
- 青年交流事業は他地区との交流も大切であるが、地元の若者の流出防止や青年団体の活性化を図っていく必要がある。
- 評価はこのままで良い。

(4) 「ひとり一文化」運動の推進

- 文化団体会員の高齢化が顕著であるため、多くの人が参加できる環境づくりに努めてもらいたい。
- 評価はこのままで良い。

(5) 「ひとりのスポーツ」運動の推進

- 評価はこのままで良い。